

北方領土、浪高し

最近、北方領土に対するロシア側の姿勢が非常に強硬です。しかも、中国や韓国まで巻き込む形でロシア側の実行支配を強固なものにしようとしています。

北方領土が、ますます遠いところに行ってしまう感じで、危惧しています。

何故このような事態になったのだろう、と考え込んでしまいましたが、一つには政府の戦略性のなさ、有り体にいえば「不甲斐なさ」といわざるを得ませんが、同時に感じることは、国民の関心の薄さが残念でなりません。

先日、週刊新潮の2月3日号を見ておりましたら、とんでもない記事が載っておりました。それは、日教組の教研集会についての記事で、その中で北方領土に関して根室市内の中学校教師が、北方領土が日本固有の領土だと教えていると思いきや「北方領土はどういう視点で考えるべきか、すごく広くて難しい。みんなはどう思う？」と（生徒に）問いかけたが、自分自身わからなくなった。と堂々とのたまう」というものでした。

真偽の程は分かりませんが、竹島問題に関しても、韓国の主張が事実なのと知っていると考えている北教組のことですから、週刊新潮の記事もありそうなことだと思ってしまう。

公立学校において、北方領土は日本固有の領土であると自信を持って教えられない教師の存在に、愕然とします。

北方領土の返還運動は、そのの所から再構築しなければダメだと、改めて感じています。（塾頭 吉田 洋一）